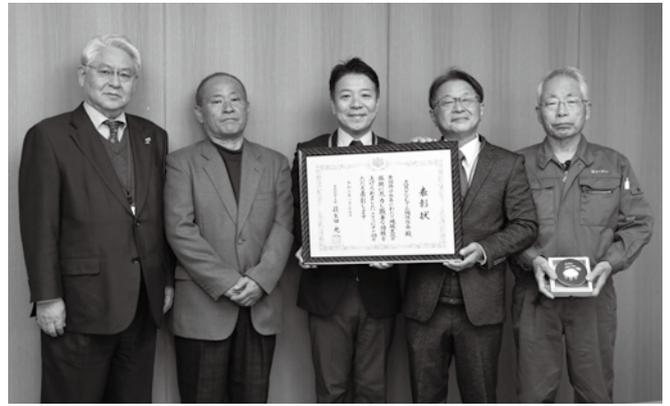


「久賀のなむでん踊保存会」 文部科学大臣表彰

2月16日、久賀のなむでん踊保存会から、文部科学大臣賞表彰の報告がありました。これは、永年にわたり、山口県指定無形民俗文化財「久賀のなむでん踊」の保存と継承に尽力し、地域文化の振興に貢献した功績が認められたものです。

「久賀のなむでん踊」は、江戸時代から続く虫送り行事で、昭和51年には山口県指定無形民俗文化財に指定されました。保存会の藤井俊司会長は、「できれば子どもたちに参加してもらって続けていきたい」と想いを語りました。



▲受賞の報告をする「久賀のなむでん踊保存会」の皆さん
(右から大谷正夫さん、藤井俊司会長、藤本町長、西本芳隆さん、西川教育長)



▲設立会議の様子

エコツーリズムの拠点に

2月16日、地家室園地活用推進協議会の設立会議が開催され、地家室園地の整備概要や活用計画、管理運営の全体図について説明がありました。

地家室園地は、ニホンアワサングを始めとする周防大島の豊かな自然環境を満喫できる、環境学習やエコツーリズムの拠点施設として、環境保全活動など、さまざまな取組を展開していきます。

安心のあるまち 防災行政無線

圏政策企画課 広報情報統計班

☎0820(74)1007

○戸別受信機の電池切れ

戸別受信機には停電を想定して、乾電池が入っています。

乾電池の残量が少なくなると、放送終了後に赤色の表示ランプが点滅し、「プツ、プツ、プツ」と警告音が鳴ります。

災害時の停電で避難情報を聞くことができないで避難が遅れてしまったという例が多いことから、電池切れを確実にお知らせするために赤ランプの点滅と音で知らせるようになっていきます。

○音を止める

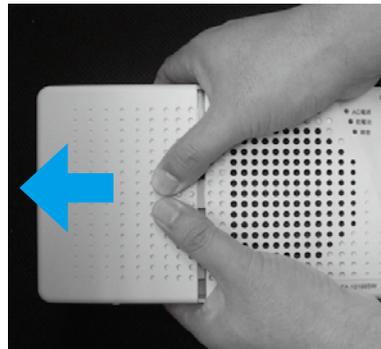
「緊急音量解除」のボタンを押すと、一時的に警告音を止めることができます。放送を受信すると再び警告音が鳴ります。



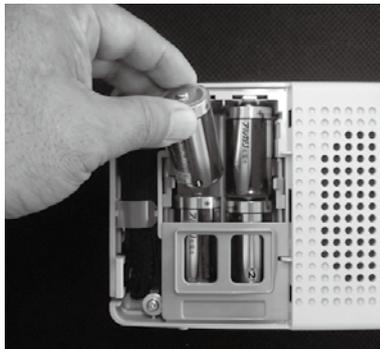
押すと一時的に音が止まります

○電池の交換方法

受信機の右側面の電源スイッチを切つて、前面のふたを開けます。



中央の「OPEN」の部分
を強く押して矢印の方向へ
スライドさせます。



単2の電池（アルカリ電池
推奨）が4本必要です。

電池の交換が終わったら元に戻し、コンセントなどを確認して電源スイッチを入れます。赤色のランプが消えて緑色のランプが点灯していれば電池交換の終了です。

【P8 ちよび塩クイズ答え ③】

手術になる前の段階で、病気の悪化を食い止めたものです。